

地域おこし協力隊委嘱状交付 今年4名の隊員が活動



4月1日、役場会議室で、4名の地域おこし協力隊員に委嘱状が交付されました。委嘱を受けた2名の農業支援員は、野菜農家や畜産農家などで将来の就農に向け研修を受けることになり、観光協会の職員1名と観光振興プロデューサー1名は、観光振興事業などに従事しながら、地域活性化に向けての業務を進めていくこととなります。

町道元神部町有牧野芽呂線 一般車両の通行が開始されました



4月1日、道営農道整備事業として平成19年度から進められてきました町道元神部町有牧野芽呂線の改良・舗装工事が完了し、一般車両の通行ができるようになりました。この路線は、農畜産物や生産資材などの効率的な輸送を図るため整備された全長6217mの道路で、すでに、コミュニティバスの運行路線としても使用されています。

交通安全街頭啓発運動 交通事故の無いまちに願いを込めて



4月6日、今年も春の交通安全に合わせ、レ・コード館前で交通安全街頭啓発運動の「人の波作戦」が行われ、多くの人が活動に参加しました。当日は、今回新たに制作した82mの横断幕を前に、老人クラブの会員など地域住民270名が集まり、ドライバーに対して、シートベルトの着用など安全運転の徹底を呼び掛けていました。

新冠町商工会青年部 子どもたちに鯉のぼりを



4月18日、新冠町商工会青年部のメンバーが、認定こども園ド・レ・ミの園庭に36本の鯉のぼりをあげました。これは「新冠の子どもたちが元気に、たくましく育って欲しい」と願いを込め、青年部が行っている取り組みで、この日も、仕事が終わった後の夕暮れ時に関係者22名が集まり、約1時間かけて鯉のぼりを設置しました。

各学校は新体制に 新冠中の新入生は44名



町内の各学校では、4月に人事異動があり、新冠小に品田校長と加渡教頭、朝日小に松井校長と高杉教頭、新冠中に岡田教頭が着任し、また、認定こども園ド・レ・ミにも木下園長が着任するなど、新体制で新年度を迎えることとなりました。このような中、4月7日には、新冠中学校体育館で平成28年度入学式が執り行われました。在校生や保護者、関係者が見守る中、生44名は、期待と不安が入り混じる緊張した面持ちの中にも、これから始まる新しい中学校での生活に胸を膨らませていた様子でした。

ま ち の 話 題

あれこれ

庄野照彦さん・渡邊研史さん 表彰状を伝達



この度、字東川の第4分団副分団長の庄野照彦さんが平成27年度消防功労者消防庁長官表彰を、また、字節婦町の第2分団分団長の渡邊研史さんが日本消防協会精績章を受賞され、4月13日に日高中部消防組合消防署新冠支署において開かれた新冠消防団会議の中で表彰状が伝達されました。庄野さんと渡邊さんは、永年に渡り消防団員として消防活動に尽力されてきた功績が認められ、この度の受賞となりました。

レ・コード館図書プラザ こどもの読書週間事業開催



4月23日から3週間にわたり、図書プラザでこどもの読書週間事業が行われました。これは、子どもたちにもっと本に親しんでもらいたいと、毎年企画されているもので、ボランティア団体「むぎのめ」が手作りした布の絵本の展示コーナーでは、子どもたちが仕掛けが詰まった布の絵本を取り、遊びながら読書を楽しんでいました。

緑丘地区に3組が新規就農 新規就農者激励会開催



4月25日、緑丘生活センターで、緑丘地区に新たに就農した3組の家族を迎え、新規就農者激励会が開かれました。今回就農したのは、これまで農業支援員として研修してきた内藤純哉さんと井本洋督さん、また、音更町から移住した長谷川一美さんの家族で、内藤さんはピーマン栽培、井本さんと長谷川さんは酪農を始めることとなりました。

認定こども園ド・レ・ミ 火災を想定した避難訓練実施



4月27日、認定こども園ド・レ・ミで、今年度初めての避難訓練が行われ、園児たちは口に手を当てながら、担任の先生と一緒に、教室から駐車場まで避難をしました。4月のこども園の入園児数は、163名とこれまでで一番多い状況となっていることから、職員は、非常時に迅速・安全に避難ができるよう手順の確認をしていました。

前田幸治さん 町に1000万円の寄附



4月27日、字美宇のノースヒルズを運営する前田幸治代表が町に1000万円を寄附しました。この日は、前田代表に代わり福田洋志ゼネラルマネージャーが小竹町長を訪れ「現在のノースヒルズがあるのも新冠の皆様に支えていただいたおかげです」と、前田代表からのメッセージを伝え、小竹町長に目録を手渡しました。